

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼西3丁目10-14
電話 (243) 0141
13年9月9日

消費税増税中止！切実な要求実現！高橋会長の全商連2回理事会の参加報告

八月二四・二五日東京で開催された全商連理事会に参加した高橋会長が、三〇日の常任理事会で行った報告の抜粋をお知らせします。

参議院選挙の共産党に躍進で元気な理事会 歴史の転換点を開き抜こう

参議院選挙で頑張って元気が出ていた会議でした。消費税増税中止を求める運動は、一か月余の闘い、憲法改悪・原発・TPPなどどれ一つとつても「歴史の転換点」というべき闘い！という気持ちで運動しよう。アベノミクスの構造改革は、地域の中小業者を根絶やしにしてしまえという政策。負けられない。**多数派結集の壮志をもった拡大運動を**

全国で読者三〇万人、会員二〇万人の回復突破が提起されましたが、参議院選挙を通じて高まる民商への期待と信頼に確信をもった発言がありました。大坂・京都・東京は読者の沢山減つていても「また増やせばいいさ」と選挙で共産党を当選させた確信に満ち溢れていました。特に大阪は徹底的な消費税増税反対の運動に取り組んだそうです。

全国の発言に励まされたこと

◎宮城県連：震災救援で頑張った民商や共産党の住民の見る目が変わった。被災者が共産党のポスターに向かって手を合わせる人が多い。

◎大坂・兵庫：ある県から相談が少ないとの発言に対して、「要求は掘り起こすもの」「待っている何も変わらない」との励ましが。

◎埼玉県：自衛隊がサリンを作っている。住民の抗議が続いている。

◎全国で国保・社会保険料の滞納問題増加：新潟民商の白根・関屋・松浜・大江山・女池支部の活動を、報告しました。

新潟市議会に消費税増税中止 所得税法五六条廃止の議会請願

九月の市議会に議会請願の採択を目指していますが、八月三〇日、各会派に対し紹介議員になって欲しいとの要請行動を行いました。五十嵐市会議員と一緒に婦人部・青年部を中心として約一〇名が参加し、それぞれの要求を訴えながら国に意見書を出していただけたよう請願に回りました。

渡辺婦人部副部長ら五名が訴え

婦人部は、「所得税法五十六条の廃止を求める意見書」の採択を求める請願書の紹介議員になってほしい要請。参加した部員は「どうか、私たち（家族従業者）の働き分を認めてほしい」と訴えました。

青年部は消費税増税中止の訴え

消費税増税に反対する意見書の採択を訴えて、各会派を回りました。

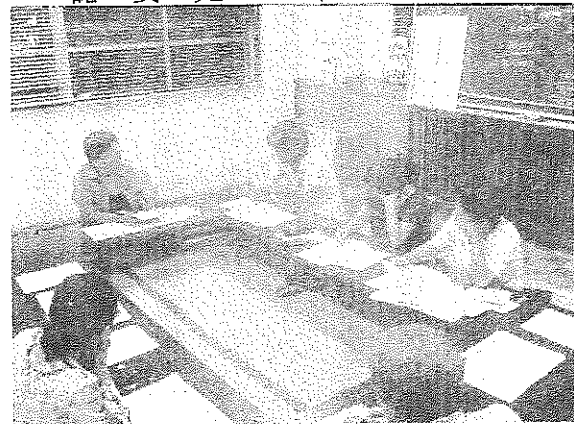
消費税率は二〇一四年四月に八%、二〇一五年一〇月には一〇%にまで引き上げることが決まっております。安倍首相はこの秋に最終的に判断をするとしていますが、新聞などの世論調査では七割を超える国民が来春の増税中止を求めています。参加した建築業の会員さんからも「消費税が上がれば間違いなく商売は厳しくなる。絶対に増税はやめさせてほしい」と切実な声を届けました。全ての会派、議員に会って訴えることは出来ませんが、受け取ってもらえたところでは、「クラブで相談させてもらう」とのことでした。



国民健康保険学習会を開催!

しもまち支部

八月の支部役員会のなかで、国保料の負担の重さが論議され、会員への呼びかけも必要とのことから、八月二十六日、野本市議を講師に迎え、国保に関する支部学習会が行われました。七月に市から送付されている国保料確定通知書を見ながら、所得が基になる応能割、世帯人数からなる応益割など国保料の仕組みの説明を受け、申告の重要性も改めて感じました。また、「基準条件に合えば、保険料が減免される。条件に満たなくても、どんどん申請して民意を伝えてください。」と訴えていました。来年は国保料率見直しの年。署名行動など要求を運動に結びようと確認し合っていました。



映画「渡されたバトン」を観て

西蒲・巻町で一九七〇年代から起こった東北電力・巻原発建設反対運動を描いた映画「渡されたバトン」の上映会が各区ごとに行われています。映画は、地元エキストラも多数出演するローカル色豊かなものですが、日本のどこにもある町で突然起こった原発建設問題にまつわる人間模様を描いています。

推進派の地元建設業者や町長が客として出入りする割烹「珊瑚屋」の主人と妻が、娘夫婦たちの反対運動やスリーマイル島・チェルノブイリの事故報道を見て、葛藤し、次第に変わっていきます。そして家族の絆も強くなっていきます。娘はこう言います。「親から子へ、子から孫へと渡されるバトンは、新しい希望の時代の考え方を取り込んで変わっていくのよ」と。

そして町は、建設反対の運動が盛り上がり、反対派町長の当選、町の住民投票での反対派の勝利、その後の東北電力の建設断念（一九九六年）を迎えます。巻町の反対運動は「原発は住民の安心・安全な生活と決して相容れない」という信念のバトンを次世代の人々に渡したのです。

(山口)

「第59回・日本母親大会イン東京に参加させて頂いて。シリーズ後編」

婦人部副部長 高橋 君子

8/25(日) 分科会

「TPPに参加するとどうなるの?」に出ました。パネリストは、東大大学院教授の鈴木宣弘氏。

米国モンサント社をはじめとするほんの1%の多国籍企業に世界中の政治、経済、くらしがねらわれ、にぎられてしまっていることにおさえようもない憤りを覚えました。“悪のトライアングル”と言われている中に世界の政治家・官僚達・富裕層が組みこまれていて、果てしない利益の強奪が企てられている一つにTPPがある。

そういう人達には、良心のかけらもなく、人の命なんてどうでもよくて、ひたすら金もうけができればいいんだそうです。消費税問題も秒読み段階に入ってきていますが、TPPもとっても緊迫した段階です。

とても恐ろしい内容の事実が隠され続け、私達はだまされ続けています。今、この真実を多くの国民に知らせて、正式参加を阻止しなければ、日本の国は滅びてしまう程です。安倍総理の選挙ポスターに「日本を取り戻す」とありましたが、それどころか、まさに「日本を売り渡す」のです。

このことの内容のDVDや本を買ってきたので、ぜひ各支部で活用していただきたいと思います。

この度の母親大会には四人で参加しました。

- ・小林禧子さん(松浜支部)
- ・和合通子さん(女池支部)
- ・渡部修子さん(亀田支部) と私です。

それぞれいろんな分科会で学んできましたので、それを民商の皆さんの為に生かす事ができたらいいと思います。

どうもありがとうございました。

